

2026年度 目標発表会

医療部



©磐田市



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 目標発表会【医療部】 目次

NO.		ページ
1	呼吸器内科	2
2	消化器内科/消化器内視鏡室	4
3	肝臓内科 / 肝臓疾患センター / 肝臓疾患相談支援センター	6
4	循環器内科	8
5	脳神経内科 / 脳卒中センター	10
6	血液内科 / 血液疾患診療センター / 外来化学療法センター	12
7	糖尿病・内分泌内科	14
8	糖尿病センター	16
9	腎臓内科 / 腎センター	18
10	精神科	20
11	緩和医療科	22
12	緩和ケアセンター	24
13	小児科	26
14	外科/消化器外科	28
15	血管外科	30
16	呼吸器外科	32

NO.		ページ
17	乳腺外科	34
18	整形外科	36
19	形成外科	38
20	脳神経外科	40
21	産婦人科 / 周産期母子医療センター	42
22	眼科	44
23	耳鼻咽喉科	46
24	泌尿器科	48
25	皮膚科	50
26	放射線診断科 / 画像診断センター	52
27	放射線治療科 / 放射線治療センター	54
28	麻酔科 / 手術センター	56
29	病理診断科 / 病理診断センター	58
30	リハビリテーション科	60
31	救急科 / 救命救急センター	62
32	歯科口腔外科	64



©磐田市



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 呼吸器内科



目標に対するベンチマーク

呼吸器内科: 25年04月～26年02月
 厚生局: [北海道][東北][関東信越][東海北陸][近畿][中国四国][四国][九州]
 病床規模: [400-499床][500床以上]
 設立母体: [公立][民間][公的]
 病院群: [DPC標準病院(Ⅲ)] 比較対象: 32病院 21,948症例



GHC ダッシュボードX より



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	106.6	119.5	123	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	56.2	54.4	60.0	成果時に 評価
気管支鏡検査(件)	-	-	350	成果時に 評価
凍結生検(件)	-	-	70	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	難治性疾患や重症症例の急性期対応の受け入れを迅速に行い、精度の高い診断、治療を提供する	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	資格取得レベルや個々の技量に応じた適正な勤務量の配分を実践し資格取得に向けた研修施設の維持を行う	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	回転率の高い効率のよい入院診療の実践と気管支鏡を用いた特殊検査の推進	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

- 地域医療へ当院の診療について、講演会や誌面発表、病診連携を通じて周知し、臨床内容についても随時reviewし、up dateを図る
- 気管支鏡検査の件数を増やし、かつ時間内に完結できるようDPC期間IIでの退院が可能な症例においては午前中での検査数を増やし、日中で終了できる総入院検査数を増加させ収益面、時間内勤務達成の両立を図る。
- 凍結生検やリンパ節生検を含め、気管支鏡検査を応用した手法を、感染症から悪性腫瘍まで幅広い分野で診断や治療に対して行う。
- 入院時点から退院を見据えた病棟やPFM、MSWなど多職種と連携し、情報を共有し効率のよい入院診療を実践する。



2026年度の新たな取り組み

- 本年度は地域連携パスを作成し実践可能な状態に整えます。
- 腫瘍に対する凍結生検やリンパ増殖性疾患に対するリンパ節生検の実施回数を増やします（これにより入院数×気管支鏡検査手技料×DPC II 以内退院の達成数が増加できる見込み）
- 気管支鏡検査と肺炎パネル遺伝子検査を組み合わせ、感染症治療において抗菌薬適性使用の観点から迅速な適正使用への修正を図り、診断率の向上による入院期間の短縮を目指します。
- ステロイドホルモン剤使用中の入院期間をおよそ2週間程度短縮させることで入院期間の短縮を図る。（退院の目安の投与量を変更する）
- 朝のカンファレンス時に定期的にDPC II の期間の確認と入院短縮に向けた周知を頻回に行います。



決意表明

- 働きがいのある環境（作業の効率化、適切な勤務配置、高度で最新の知識と手技を取り入れた診療に特化した医療）を目指します。
- 平均入院日数短縮とDPC II 以内の達成率を常に意識した上で高度な診療を維持して参ります。



2026年度 数値目標

【2026年度】目標発表会 消化器内科 消化器内視鏡室

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	179.3	210.9	190	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	69.3	64.8	65.0	成果時に 評価
EUS-HGS(超音波内視鏡下 肝胃吻合術)の件数増加(件)	-	-	10	成果時に 評価
ESDの件数増加(件)	104	110	120	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	消化器内視鏡センターの早期稼働に向けた設備・体制等の準備	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	有給休暇取得率の上昇	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	医師会関連の研究会などで対応可能な疾患の周知	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

地域から求められる医療を磨く

放射線科スタッフ および 病棟スタッフと連携し、患者動線の確認など、スムーズな運用移行ができるように準備していく。

内視鏡センターの開設を広報し、アメニティの充実や検査体制の強化をアピールする。

職員が生き活きと輝く職場環境を整備

定期的な休暇状況の確認を行い、有休取得を促す。

経営基盤の回復

医師会等を通じて、当科の実績を周知し、紹介率の上昇をめざす。



2026年度の新たな取り組み

消化器内視鏡センターの開設に向けて、十分な準備を進めていきます。

周辺地域へも改めて周知を行っていき、検査の受け入れ増を目指します。

高難度処置を積極的に行い、当院での治療完結ができるようにしていきます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

安全・安心かつ高度な治療を行う診療グループを目指します。

消化器内視鏡センターの安定稼働に向けて全力を尽くします。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会

肝臓内科

肝臓疾患センター

肝疾患相談支援センター

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標値	達成度
県認定コーディネーター	23	22	25	成果時に 評価
肝疾患治療費助成案内件数	15	23	30	成果時に 評価
肝疾患相談件数	27	43	45	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	肝疾患に関する制度の周知、情報の提供を行う。	成果時に 評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	それぞれの職種の専門性を発揮できるように役割分担を明確にする。	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	医師会などを通じて肝疾患の対応などの重要性を周知していく。	成果時に 評価

2026年度の目標達成に向けた施策

地域から求められる医療を磨く

- 肝疾患に対する制度の周知
 - B型・C型肝炎治療費の助成
 - 定期検査費用の助成
 - B型肝炎の給付金
 - 薬害肝炎(C型肝炎)の給付金
 - 肝がん・重度肝硬変の方への支援制度
- 「肝臓週間」に合わせた院内キャンペーンの実施



2026年度の目標達成に向けた施策

職員が生き活きと輝く職場環境を整備

多職種と協力して、それぞれの職種の特性を生かし、より良い医療を提供できるようにしていく。

経営基盤の回復

近隣のクリニックなどに情報を提供して、紹介患者の増加を目指す。



決意表明

患者相談支援活動の促進

肝炎ウイルス検査の「**受検**」、
検査陽性者の早期「**受診**」、
肝炎患者の継続的な「**受療**」を促進し、
「**フォローアップ**」が円滑に行われる
ようにする。



2026年度の新たな取り組み

リハビリ科の肝炎コーディネーターの方に依頼し、
肝疾患の患者向けの体操のメニューを作成して
いただきました。

肝疾患で入院中の方々にこれを広めていくことを
考えています。



【2026年度】目標発表会 循環器内科



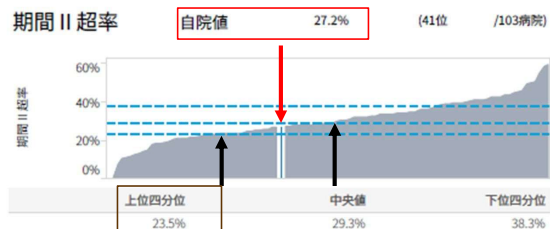
目標に対するベンチマーク

【DPC II 以内の目標】

2025年1月～2025年12月、全国400症以上の病院(循環器内科)でのDPC II 超過率
→当科 27.2% (41位 / 103病院)

目標設定; DPC II 超過率 24% (DPC II 以内 76%)

目標根拠; DPC II 超過率の上位四分位=23.5%付近を目標としたい



- ・パス入院を合併症なく予定通り経過すること
- ・退院調整を連携して速やかに行うこと、など。

GHC ダッシュボードより



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	89.6	94.9	101	成果時に 評価
DPC期間 II 以内退院率(%)	75.6	74.0	76.0	成果時に 評価
不整脈治療(アブレーション) (件)	64	71	70	成果時に 評価
心臓カテーテル検査(CAG) 及び治療(PCI)	CAG:441 PCI:210	CAG:444 PCI:269	CAG:500件/年 PCI:240件/年	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	・不整脈治療(アブレーション治療)の推進、 ・心臓カテーテル検査及び治療の維持・強化	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	・資格情報管理の活用による施設基準の適切な維持 ・臨床工学技士との連携、タスクシフト	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	・地域の医療機関との交流を通じ、対応可能な疾患の周知 ・医療機器コストの削減による収益増加	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

- 不整脈治療(アブレーション治療)の推進、心臓カテーテル検査及び治療の維持・強化
 - パルスフィールドアブレーションの拡大、アブレーション件数の維持
 - 心臓カテーテル検査および治療件数の増加、高度石灰化病変に対する新規治療機器(ショックウェーブ)の導入
- 資格情報管理の活用による施設基準の適切な維持
 - 内科専攻医プログラム(J-OSLER)、循環器専門医研修施設(循環器J-OALER)、カテーテルインターベンション専門施設、不整脈専門医研修施設、高血圧認定研修施設



2026年度の目標達成に向けた施策

- 臨床工学技士との連携、タスクシフト
 - 緊急カテチームへの臨床工学技士の参入
- 地域の医療機関との交流を通じ、対応可能な疾患の周知
 - 心不全地域連携連絡会の継続と拡大、院内他職種連携の強化、病診連携勉強会の開催
 - 心不全再入院予防継続管理料算定への準備
- 医療機器コストの削減による収益増加
 - NHA循環器分野共同購入への継続参加(2025年度は約860万円の還元金)



2026年度の新たな取り組み

- 石灰化病変に対するPCI治療機器(ショックウェーブ)導入
- ペースメーカー手技の向上(刺激伝導系ペーシング)
- ペースメーカー遠隔モニタリングの継続と病診連携パスの準備
- 外来心リハの充実(集団リハ)
- MACT(モニターアラームコントロールチーム)への協力



決意表明

多職種連携、チーム医療の強化を目指します。

収益向上、コスト削減にも取り組みながら、
地域中核病院として医療の質の向上との両立を
目指します。



2026年度 数値目標

【2026年度】目標発表会 脳神経内科 脳卒中センター

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	26.5	16.5	18	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	62.9	64.8	65	成果時に 評価



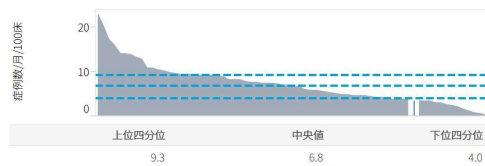
磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



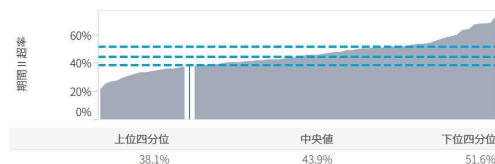
磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

目標に対するベンチマーク

症例数/月/100床 自院値 3.5症例 (59位 /72病院)



期間Ⅱ超率 自院値 37.4% (17位 /72病院)



GHC ダッシュボードX より



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	脳卒中の搬送を基本断らない	成果時に 評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	非神経疾患の診療を適切な診療科に依頼する	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	投薬、検査は必要最小限に	成果時に 評価



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度の目標達成に向けた施策

脳梗塞の搬送を従前通り受け入れる事を
救急隊、周辺医療機関へお伝えしたいと
思います



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度の新たな取り組み

搬送前に一報いただく事で、応需困難な
場合のみ他院への搬送を依頼します
9割程度は応需可能と思われれます



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

無理のないよう持続可能な診療を心掛けます



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会

血液内科

血液疾患診療センター

外来化学療法センター



目標に対するベンチマーク

日本血液学会認定施設において
当院と同規模の施設における
新規患者数や移植件数を参考にして
目標を設定した。



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	67.4	72.1	77	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	81.9	81.3	80	成果時に 評価
自家末梢血幹細胞移植(件)	6	10	6件/年	成果時に 評価
外来化学療法室患者数	6320	—	6000	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる 医療を磨く	高度な血液疾患治療への対応継続	成果時に 評価
2. 職員が活き活きと輝く 職場環境を整備	血液疾患診療センターによる多職種連携して、タスク シェアシフトをすすめる。チーム血液内科で診療にあたり 業務を分担し休暇を取りやすい環境を目指す。	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	中東遠医療圏の造血器疾患患者を積極的に受け入れる。 入院化学療法において、DPCを意識したクリニカル パスをさらに推進する。	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

- ・血液疾患診療センターの取り組みを発信する
 - ・ 外来化学療法室との連携
 - ・ 自家移植、二重特異性抗体薬治療における多職種連携
- ・ AYA世代の診療体制の強化、AYA外来



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

中東遠地域唯一の血液内科を標榜している
日本血液学会認定の血液専門研修施設として、
当地域の中心的役割を担います。

当院血液内科の試みを発信していきます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度の新たな取り組み

- ・当院の血液疾患診療＝「中東遠モデル」
:積極的な他職種連携、病病連携、病診連携
- 地域の病院、診療所に向けて具体的な依頼事項を明文化し発信する。
- さらに血液疾患患者をみていけるようにする。
- 全国でもトップレベルの診療実績に。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 糖尿病・内分泌内科



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	糖尿病の予防や糖尿病患者の透析予防に向けた取り組みの充実 地域の中で、期待されている役割を果たす ・地域の他医療機関、クリニックとの連携 ・最新の治療薬、関連機器につき、速やかな情報収集を行い、患者の利益となる治療に還元する	成果時に評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	積極的な学会論文発表 糖尿病・内分泌代謝科専門医の育成 チーム医療の実践 他職種他科との風通しよい連携	成果時に評価
3. 経営基盤の回復	<ul style="list-style-type: none"> ■肥満薬物治療外来診療の始動 ■在宅糖尿病指導料算定の充実(看護部との連携) 教育入院インスリン導入患者さんの退院時算定 外来インスリン導入患者さんの算定 ■教育入院患者のIn Body検査の入院前実施 	成果時に評価



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	16.8	17.9	20	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	76.9	62.0	75.0	成果時に評価
<ul style="list-style-type: none"> ■指導管理料算定 在宅妊娠糖尿病患者指導管理料2 	-	27(52%)	45(70%)	成果時に評価
在宅療養指導料	-	34	50	
教育入院(インスリン注射) 外来指導	-	45	50	
■肥満外来診療	-	-	10	
■外来 教育入院前 In Body 検査	-	-	50(50%)	



2026年度の目標達成に向けた施策

■肥満薬物治療外来診療の始動

肥満 薬物療法保険診療の可能な医療施設

下記各学会教育認定施設

日本糖尿病学会 全国 960 静岡県内 13施設
日本内分泌学会
日本循環器病学会
日本肥満学会
日本肥満治療学会

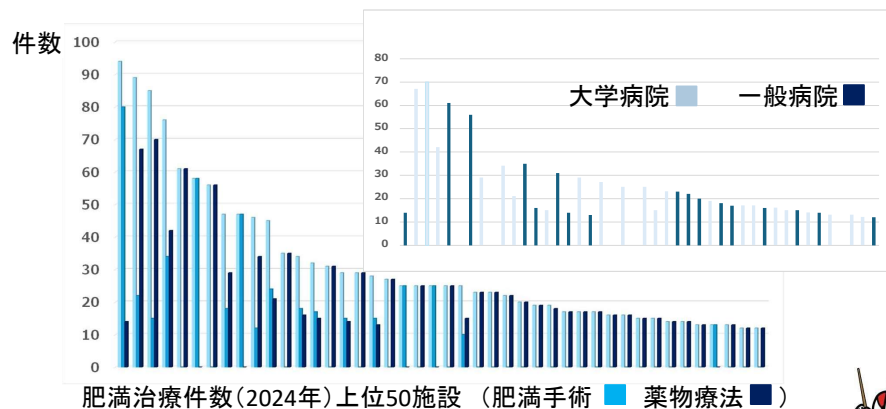
現状、保険診療以外自由診療で薬剤を提供している医療機関は少ない。
当院は、保険診療可能な医療施設として 患者さんにとって安全で有益な肥満薬物治療を丁寧におこなっていきたく考えている

薬物治療導入前の 6ヶ月間の準備期間に2ヶ月毎の栄養指導や生活習慣の改善指導の後の導入が必要であり、さらに「治療開始後も継続した栄養指導を要する →栄養科と協力した治療外来の運営



目標に対するベンチマーク

肥満外来は薬剤保険適応開始が2024年2月であり、処方開始まで準備期間があること、自由診療で治療を受ける患者が少ないこと、からベンチマークに関する情報は少ない
県内では 静岡市A病院（718床）で2024年 肥満外来33件うち薬物治療導入13件/年が報告されている



2026年度の新たな取り組み

■ 肥満薬物治療外来診療の始動

患者さんの治療適応を適切に評価し、栄養科をはじめ関連各部署と連携を取りながら、安全で有益な肥満薬物治療を丁寧におこなっていきたく考えている

■ 中東遠地区における糖尿病・内分泌診療の変化に対応

当地区で唯一の糖尿病・内分泌専門科として、糖尿病の治療・教育、内分泌希少疾患の診断や高度治療機関への橋渡し、当科救急対応などに柔軟に対応していく

■ 教育入院患者のIn Body検査と、それによるオーダーメイドな患者指導の実現

In Body検査から得られる情報をオーダーメイドな患者指導に生かすリハビリテーション科と連携して四肢筋肉量の評価を運動療法の個別指導につなげる試み



決意表明



代謝疾患・内分泌疾患のスペシャリストとして

院内および地域の中で、当科の期待されている役割を

スタッフ全員で考え、果たしていきます

治療から予防へ、患者さん一人ひとりに

最も有益な医療の提供をめざします



【2026年度】目標発表会 糖尿病センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	糖尿病の予防や糖尿病患者の透析予防に向けた取り組みの充実 地域唯一の糖尿病センターとして、地域の糖尿病予防の指導的役割を果たしていく	成果時に評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	2026年9月5-6日 第100回日本糖尿病学会中部地方会(県内開催)に参加 同学会での発表 スタッフメンバーの教育 資格取得や更新に対するバックアップ	成果時に評価
3. 経営基盤の回復	引き続き診療科や部門の垣根をこえて病院経済に貢献する ■「間歇スキャン式自動血糖測定器」選定療養 ■腎症重症化予防関連外来の拡充	成果時に評価



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度目標	達成度
フットケア外来数	205	227	230	成果時に評価
透析予防管理料算定 腎症重症化予防外来 慢性腎臓病透析予防指導管理料 腎臓内科(慢性腎臓病) 糖尿病・内分泌内科(糖尿病成腎症)	7 24 13	7 102 17	5-10 100 50	成果時に評価
「間歇スキャン式自動血糖測定器」 選定療養	-	-	25	成果時に評価



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度の目標達成に向けた施策

間歇スキャン式持続血糖測定の選定療養開始

「間歇スキャン式自動血糖測定器」のご案内

当院は、保険外併用療養費に関して厚生労働省に届出を行っており、スキャン式自動血糖測定器を取り扱っています。
購入ご希望の方はスタッフまでお気軽にお問い合わせください。
なお、インスリン治療中の患者さんは保険が適用されます。

機器名	価格(税込)	価格(税別)
FreeStyle QT2	¥112,000	¥100,000
Daacom G7	¥100,000	¥90,000
スキャンセンサー	¥1,400	¥1,200
センサー	¥1,000	¥900

- センサーを上唇に装着し、専用の測定器もしくはスマートフォンでスキャンすることで、簡単にご自身の血糖(グルコース)を測定できます
- 1つのセンサーで最長14日間の装着が可能で、お風呂や水泳、運動など、日常生活をいつも通り送っていただけます
- 1日の血糖の動きを、グラフで確認することができます

磐田市立総合病院

2024年7月より、「選定療養(保険外併用療養費)」制度の対象に加わった間歇スキャン式的持続血糖測定に関連する機器、消耗品の有償提供の準備を各部署と連携して行った。近日提供開始予定

インスリン治療をしている患者さんだけでなく

- 健康管理目的に希望される患者さんへの物品の有償提供
- 保険診療で提供している患者さんへ追加消耗品の有償提供



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度の目標達成に向けた施策

2026年9月5-6日

第100回記念

日本糖尿病学会中部地方会が

浜松で開催予定である

ALL SHIZUOKAでの開催！

当院の活動成果を発表、また他施設の糖尿病センターとの交流を深め、新しい取り組みのアイデアを得る

発表・参加によりスタッフの資格更新、新規取得も可能となる



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度の新たな取り組み

■ 間歇スキャン式自動血糖測定器選定療養開始

新規導入施策

広報活動を積極的に行い、病院経済に貢献する
さらに広く市民の糖尿病予防につなげていく

■ 災害拠点病院として

平成28年に策定した「磐田市医療救護計画」が令和8年1月に改訂された
当院は災害拠点病院であり、1型糖尿病のインスリン供給施設となりうる
市医師会、薬剤師会と連携をして災害時のインスリン供給ルートを整えていく

■ 腎症重症化予防関連外来の拡充

指導場所が確保できたため、2026年度指導曜日を拡大することが可能になった
月4回 → 月6回
担当スタッフの養成を引き続きおこなっていく



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

中東遠地区唯一の糖尿病専門センター組織として

患者さんに最新の医療と情報を提供します



トーク会議になっても、
かわらず活発な意見交換を
新しいアイデアをメンバー全員が
提案できる風通しのよい運営



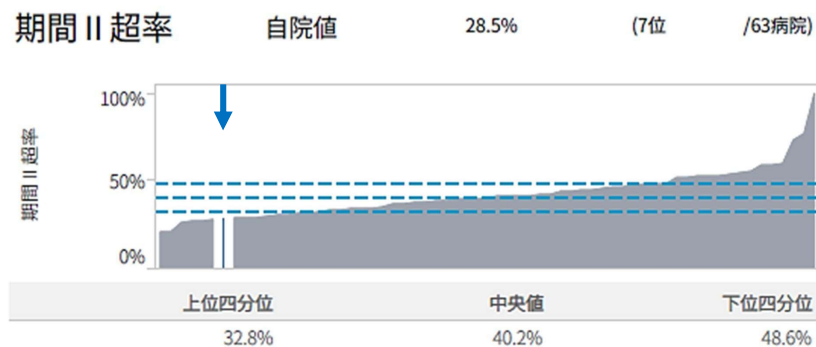
磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 腎臓内科 腎センター



目標に対するベンチマーク

400床以上の病院腎臓内科におけるDPC期間II超の退院率(%)



GHC ダッシュボードX より



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	28.8	27.0	31	成果時に 評価
DPC期間II以内退院率(%)	68.9	72.7	72.8	成果時に 評価
新規外来患者数(人/月)	17.3	16.1	17.5	成果時に 評価
外来維持透析患者数	102	103	104	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	腎症重症化予防外来、透析予防外来の充実に向けた検討	成果時に 評価
1. 地域から求められる医療を磨く	災害時透析医療体制の確立に向けた行政との緊密な連携の構築	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	資格情報管理の活用による施設基準の適切な維持	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	新規外来患者数の増加 外来維持透析患者数の増加	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

新規外来患者数の増加

- ✓ 地域講演会への積極的な参画
- ✓ 上級医による初診外来の機能強化
- ✓ 地域医療機関との顔の見える連携強化

透析予防外来の充実に向けた検討

- ✓ 透析予防外来枠の増設



2026年度の新たな取り組み

災害時透析医療体制の確立に向けた取り組み

- ✓ 磐田・中東遠地域： 磐田・中東遠防災ネットワーク (LINE WORKS)
- ✓ 静岡県： ふじのくに防災情報共有システム「FUJISAN」
- ✓ 全国： 日本透析医会情報伝達ネットワーク
- ✓ 広域関東圏： 災害対策連携会議への参加と緊急時透析情報共有マッピングシステム(DIEMAS)の導入



決意表明

より質の高い慢性腎臓病対策を実施し
周囲から目標とされる施設となる

透析導入患者さんを減らしたい



【2026年度】目標発表会 緩和医療科



目標に対するベンチマーク

補助金計算の仕組みに合わせた適正な緩和
医療科入院数の維持

外来患者の適正な管理

(専門的緩和ケアが不要になった外来患者は
一旦終診とする)



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	2.7	2.8	2.5	成果時に 評価
緩和ケアチーム依頼数(人/年)	293	312	300	成果時に 評価
外来のべ患者数(人/年)	664	591	580	成果時に 評価
緩和ケア診療加算算定件数(件/年)	2273	2311	2300	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる 医療を磨く	緩和医療科医師の育成・確保推進による緩和ケアチ ームの体制維持	成果時に 評価
2. 職員が活き活きと輝く 職場環境を整備	入院患者・外来患者との関わり方の見直しでワーク ライフバランスを改善	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	地域の医療機関との交流を通じ、紹介患者の獲得	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

人材育成

世代交代を見据えて発掘・育成

院外との積極的に連携

緩和ケア連携カンファレンス

緩和ケアチーム合同カンファレンス

在支診・在支病カンファレンス



2026年度の新たな取り組み

オピオイドの安全な使用のために標準的な処方テンプレートの作成をします

注射剤を中心に作成

使用方法も標準化



決意表明

質の高い緩和ケアの提供

早期の症状緩和

意思決定支援

人材育成

地域連携・社会貢献



【2026年度】目標発表会 緩和ケアセンター



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	中東遠地域の医療者多職種の連携強化スキル向上	成果時に評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	緩和医療専従を志す医療者の育成・確保	成果時に評価
3. 経営基盤の回復	中東遠地域の各医療機関と連携し、在宅療養患者のレスパイト等への対応	成果時に評価



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	2.7	2.8	2.5	成果時に評価
緩和ケアチーム依頼数(人/年)	293	312	300	成果時に評価
外来のべ患者数(人/年)	664	591	580	成果時に評価
緩和ケア診療加算算定件数(件/年)	2273	2311	2300	成果時に評価
中東遠緩和ケア連携カンファレンス(件/年)	12	11	12	成果時に評価
緩和ケアセンター所属認定看護師数	3	2	3	成果時に評価



2026年度の目標達成に向けた施策

5年先を見据えた人材育成

研修医・専修医から緩和医療に関心を

認定看護師の育成を

中東遠地域の多職種にわたる連携

中東遠緩和ケア連携カンファレンス

緩和ケアチーム合同カンファレンス

医療機関のみならず療養施設との連携



2026年度の新たな取り組み

地域の医療機関以外の療養施設(サービス付き高齢者住宅, 老人ホーム等)と連携します

当該施設のMSW, 介護士との連携

(カンファレンス, 勉強会等)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

中東遠地域の緩和ケア中核施設として地域の医療機関, 療養施設との連携を強化していきます

緩和ケア・医療に専従する人材の確保を模索します



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 数値目標

【2026年度】目標発表会 小児科

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	88.3	76.3	84	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ 以内退院率(%)	81.8	81.2	80	成果時に 評価
紹介件数(件/月)	83	85	84	成果時に 評価



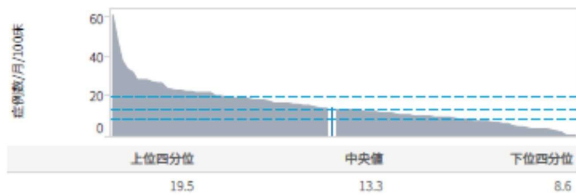
磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



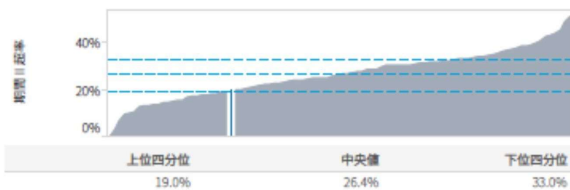
磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

目標に対するベンチマーク

症例数/月/100床 自院値 13.6症例 (46位 /96病院)



期間Ⅱ 超率 自院値 19.4% (26位 /96病院)



GHC ダッシュボードより



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	地域のすべての小児患者に対応・紹介しやすい病院、必要時は高度医療機関と連携	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	宿直明け午後帰宅・育休や産休・時短勤務がとりやすい環境の整備	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	小児人口は減少しているが、専門的医療を行うことで加算点数を確保	成果時に 評価



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度の目標達成に向けた施策

電子カルテが変更になり気がついたことだが、小児科では加算点数の取り漏れがとても多いです。

医師は加算点数や、加算がとれる条件を含めた医療費には詳しくありません。

この発表を聞いて下さった方で、加算点数を正確に取ることのできる具体的な方法の提案など、ご協力いただければうれしく思います。



2026年度の新たな取り組み

開業医の先生方からの紹介を、できるだけシンプルに、短時間で受けられるように、手順の改良を行う。

加算点数を正確に、かつ簡単にとることができる方法を探したい(ご協力をお願いします)。



決意表明

医療圏における小児人口は減少傾向だが、患者さんと保護者の方が受診しやすい病院・開業医の先生方が紹介しやすい病院であることで、受診者数・入院数を確保・維持する

小児科医として、働きがいを感じながら、疲れすぎずに、専門的で丁寧な診療ができる環境を整備したい



【2026年度】目標発表会 精神科



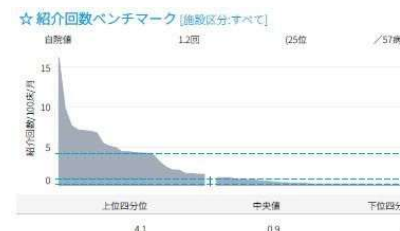
2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	精神科疾患に合併しやすい不眠症に対して、生活習慣指導を行い、睡眠薬依存のリスク軽減に取り組む。	成果時に評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	職員が燃え尽き症候群等に陥る事を減らせるよう、受診や相談をしやすくする。	成果時に評価
3. 経営基盤の回復	年間2800人前後の外来患者数を概ね維持しつつ、院内外からの紹介を受けられるように調整する。	成果時に評価



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度目標	達成度
精神疾患診療体制加算2 入院精神療法(入院3日以内)(件)	36	23	20以上	成果時に評価
紹介受け入れ人数(人/月)	5.9	6.3	6前後	成果時に評価



GHC ダッシュボードより



2026年度の目標達成に向けた施策

- ・学会や症例検討、文献等から情報を得て、研鑽を積む。
- ・外来診療が円滑に進む様に、予約人数を調整する。
- ・空いた枠を活用し、内外からの診察依頼に対応する。



2026年度の新たな取り組み

- ・精神科疾患に合併しやすい不眠症に対して、生活習慣指導を行い、睡眠薬依存のリスク軽減に取り組む。
- ・何をやれば良眠できるかは個人差が大きいので、画一的な指導の押しつけにならないよう留意しつつ、新しい知見も活かして行く。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

- ・精神科医1名のための診療体制で、出来る事に取り組む。
- ・業務に伴う心身のストレスから「当院職員が望まない離職や自死に至る」事、それに伴う経営状況の悪化等を避ける為、必要に応じて各部署や当院上層部に環境改善を要求する。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 数値目標

【2026年度】目標発表会 外科・消化器外科

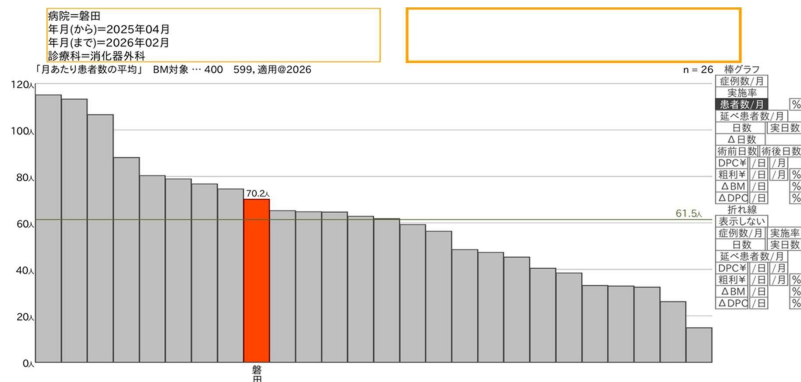
項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	76.1	74.4	82	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	73.8	72.9	73	成果時に 評価
ロボット支援手術(件)	62	73	90	成果時に 評価



目標に対するベンチマーク

2026年度 重点目標

月当たり患者数



girasol より



項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	ロボット支援鼠径ヘルニア手術の導入(診療報酬改定後)	成果時に 評価
1. 地域から求められる医療を磨く	鼠径ヘルニア手術待機期間のさらなる短縮	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	ロボット支援手術を増やし、病院全体で内視鏡手術用支援機器加算の取得を目指す	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

休日のロボット支援手術を計画する

(手術室、麻酔科にも相談)

ロボット支援胃切除は幽門側胃切除のみでなく噴門側胃切除も行う

手術時間の短縮



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度の新たな取り組み

休日の活用(ロボット支援手術)

今年度新たに ロボット支援鼠径ヘルニア手術を始める



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

ロボット支援手術を増やし、病院全体で

内視鏡手術用支援機器加算の取得を

目指す



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 血管外科



目標に対するベンチマーク

新規入院患者数

現状1.9人／月から 2.5人／月へ。
まずは安全な受入体制を構築し、対応可能症例を着実に増やす。

DPC期間Ⅱ以内退院率

日帰り・短期滞在手術、術前評価の標準化、計画的な退院支援により70%を目指す。

日帰り・短期滞在手術件数

下肢静脈瘤、シャント関連手術を中心に既存診療を継続し、安定的に提供する。



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	2.6	1.9	2.5	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	72.0	63.6	70	成果時に評価
経皮的血管拡張術・血栓除去術(件)	37	36	40	成果時に評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	安全な診療体制を構築し、静脈瘤・シャント・末梢動脈疾患へ安定的に対応する	成果時に評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	一人科長でも無理なく継続できる診療フローを整え、他部署と連携した安全運営を行う	成果時に評価
3. 経営基盤の回復	日帰り・短期滞在治療を推進し、効率的な入退院管理で生産性を高める	成果時に評価



2026年度の目標達成に向けた施策

安全な診療体制の構築

継続的かつ安全な診療体制を整備する。

院内連携を強化し安定した診療を継続する。

日帰り・短期滞在治療の強化

患者負担と病床負荷の軽減を意識し、効率的な治療体制を整備する。

地域ニーズへの対応の強化

地域で求められる血管外科診療に対応し、実情に即した医療提供につなげる。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度の新たな取り組み

前医師の築いた土台をもとに、
少人数でも継続できる治療を安定して提供する

下肢静脈瘤治療

焼灼術・グルーによる日帰り手術と入院手術をニーズに応じて選択

シャント関連治療

シャントトラブル対応・シャント造設に
取り組み
入院・外来治療の選択
腎臓内科と連携

末梢動脈疾患

末梢動脈疾患に対する手術・治療に対してrSO2などを使用した効率的な
フォロー
形成外科などとも連携



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

地域の皆様に安心していただける
血管外科診療を目指し、安全で継続可能な
診療体制の構築に努めてまいります。



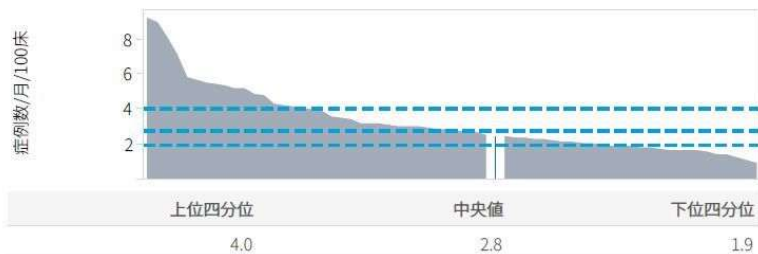
磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 呼吸器外科



目標に対するベンチマーク

症例数/月/100床 自院値 2.4症例 (37位 /64病院)



GHC ダッシュボードχ より



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	15.3	10.1	17	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	83.5	80.9	85	成果時に 評価
手術件数(件)	153	118	125	成果時に 評価
ロボット支援手術割合(%)	11	15	24	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	ロボット支援手術等の新規高難度がん診療技術の導入・促進	成果時に 評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	チーム医療の充実による負担分配	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	近隣医療機関との診療連携の拡充	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

- ロボット支援下手術の安全な適用拡大
- 中東遠圏域4病院をはじめとした近隣医療機関との連携強化
- 積極的な休暇の取得促進



2026年度の新たな取り組み

エリアマーケティングを通して、
連携室スタッフと共に紹介元を訪問し、
不満点や要望のヒアリングを積極的に行います



決意表明

スタッフの得意分野を最大限に
活かしながら、
時代や地域の状況に即した進化を
続けていきます



【2026年度】目標発表会 乳腺外科



目標に対するベンチマーク

DPC対象病院・準備病院・出来高算定病院の統計2023年4月～2024年3月

全国合計乳がんの治療実績

乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除+郭清あり 平均在院日数 10.2日 (DPC II 9日)
郭清なし 5.8日 (DPC II 5日)

乳腺治療実績 手術あり 症例数 100以上

A病院 440、 B病院 388、 C病院 307、 D病院 179、
E病院 164、 F病院 136、 G病院 127、 当院 116



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	12.3	15.5	17	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	57.7	85.9	87	成果時に 評価
乳腺悪性腫瘍に対する根治術 件数(件)	142	115	120	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる 医療を磨く	進行乳がんの骨転移・脳転移に関するクリニカルパス 使用による転移再発治療の標準化の推進	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く 職場環境を整備	浜松医科大学との連携による乳癌認定施設基準の 適切な維持	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	周術期と転移再発時の専門的治療以外の、初期治療 後経過観察はかかりつけ医に依頼して外来初診枠を 増加させて、初期治療を行う患者数増加を図る	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

初期診療枠の増加のために、乳癌告知時よりかかりつけ医との共同診療(薬物治療有害事象の対症治療、生活習慣病予防など)依頼。

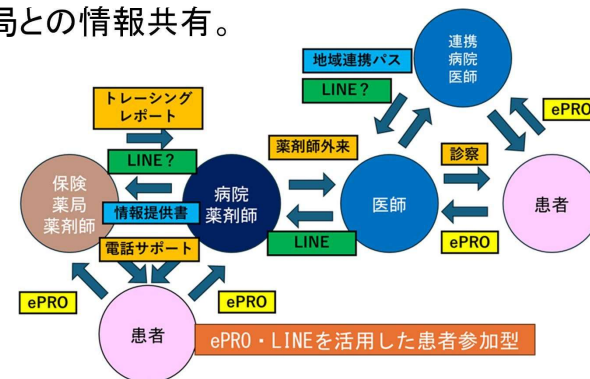
局所麻酔手術の短期入院による入院患者数増加。



2026年度の新たな取り組み

術前画像上リンパ節転移を有する症例に対する薬物治療後の腋窩郭清の省略。

ラインワークスもしくはライン公式アカウントによるかかりつけ医・かかりつけ薬局との情報共有。



決意表明

地域格差の解消

重篤な薬害防止

経験と知識の次世代への伝承



【2026年度】目標発表会 整形外科



目標に対するベンチマーク

ベンチマーク分析: 400床以上 (239病院)

症例数/月/100床: 当院19.8症例 (44位/239病院)

期間II超率: 当院36.8% (125位/239病院)

手術単価: 当院 576,036円 (213位/239病院)

→1日単価: 当院70,861円 (210位/239病院)

薄利多売の体質改善が必要



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	100.5	112.2	120	成果時に 評価
DPC期間II以内退院率(%)	68.5	66.4	70	成果時に 評価
脊椎内視鏡手術(件)	-	-	20	成果時に 評価
手術単価(円)	579,835	576,036	600,000	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	先端医療の人工関節手術や脊椎ナビゲーション手術の導入に向けた検討	成果時に 評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	医師の働き方改革への取り組みとして時間外勤務の削減や適切な休息取得に向けた診療体制の構築	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	DPC期間を意識した入院管理や新入院患者の獲得外保連指数や手術点数を意識した手術への取り組み	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

地域から求められる医療を磨く

〈低侵襲・専門性の高い治療の実施への取り組み〉

- ・脊椎関連→**脊椎内視鏡手術**の導入予定
- ・**コンピュータ支援手術**の導入準備
(人工関節ナビゲーション、術前計画ソフトウェア)

職員が生き生きと輝く職場環境の整備

〈医師の働き方改革への適応〉

- ・**複数主治医制**の導入、実施で、より休暇を取得しやすくする
- ・**勤務時間内**のカンファレンスや勉強会を実施しつつも質も確保



2026年度の目標達成に向けた施策

経営基盤の回復

〈新規入院患者数の獲得〉

- ・近隣医療機関や市民への意欲的な情報発信
- ・救急搬送患者に対する入院応需

〈コスト意識を考慮した診療材料の使用〉

- ・病院への利益還元となる整形外科インプラントや消耗品の積極使用

〈外保連指数や手術点数を意識した手術への取り組み〉

- ・脊椎関連手術、人工関節置換術、関節鏡下手術実施の増加
- ・手術室の効率的な運用への協力
→複数医師が上記手術を実施可能とする体制づくり



2026年度の新たな取り組み

◆がん診療連携拠点病院における整形外科の役割の見直し

がん骨転移に対する病的骨折の予防や速やかな治療介入への取り組み

- ・他診療科(がん診療主科、放射線治療科、緩和医療科)との連携構築
- ・患者データベース作成
- ・定期的な外来フォロー
- ・整形外科スタッフの意識改革・教育

◆整形外科疾患の合併が多い肥満症治療への取り組み

糖尿病内分泌科、栄養科と連携した他職種での肥満症治療への取り組み



決意表明

診療レベルを上げて開業医・地域住民に選ばれる
整形外科を目指すため、**スタッフ個々**の診療スキル
やモチベーションの向上に励み、病院経営に貢献で
きるよう**チームとして**一貫性を持った取り組みを行
います。



2026年度 数値目標

【2026年度】目標発表会 形成外科

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	15.1	10.9	12	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	64.8	58.2	60	成果時に 評価
手術件数(1—12月)	1210	1080	1100	成果時に 評価



目標に対するベンチマーク

外来	2023年度	2024年度	2025年度
初診患者数(人)	1190	1059	619
紹介申込患者数(人)	1071	1066	654



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	地域の先生方との交流を通してニーズを把握する	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	名前で呼び合える関係作り	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	外来患者数の増加	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

新規外来患者数の増加

- 紹介枠の増枠
- 救急対応後の患者の受け入れ増加

地域の先生方との交流会への参加

- 顔の見える関係作り



2026年度の新たな取り組み

外傷治療の強化

- 救急外来受診後の外傷患者の積極的な受け入れ
- 顔面骨骨折、熱傷治療の強化

地域の先生方への科長交代の挨拶回り



決意表明

フレッシュな形成外科で

患者様1人1人を大切に

またこの病院で治療したいと思える治療を
提供していきます。



2026年度 数値目標

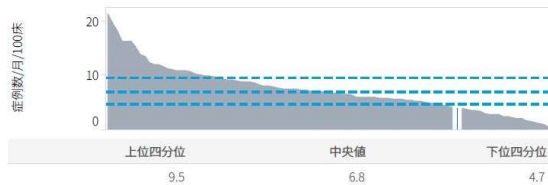
【2026年度】目標発表会 脳神経外科

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)		21.0	25	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)		77.1	75	成果時に 評価
手術件数		132	150	成果時に 評価



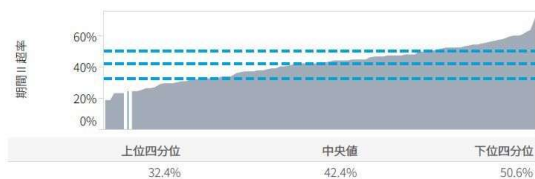
目標に対するベンチマーク

症例数/月/100床 自院値 3.9症例 (77位) /97病院



症例数/月	
自院	他院
19.7	35.9

期間Ⅱ超率 自院値 24.0% (6位) /97病院



GHC ダッシュボードχ より



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	手術症例の積極的な受け入れ 頭痛や認知症に対する専門外来体制の維持	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	専門医等の資格取得の促進 学会参加できる環境作り 呼び出される数を減らす	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	対応可能な疾患の周知 手術に重点をおいた症例への関与	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

専門的知識・技術を活かした症例集積

効率の良い手術症例の集積

地位にのニーズに合わせた受け入れ



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度の新たな取り組み

脳血管内治療の復活
自院で完結できる治療戦略

手術症例に集中できる体制作り

頭痛・認知症等の専門外来の
地域連携システム化



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

地域における脳神経の外科的治療を担う

効率の良い手術症例の集積



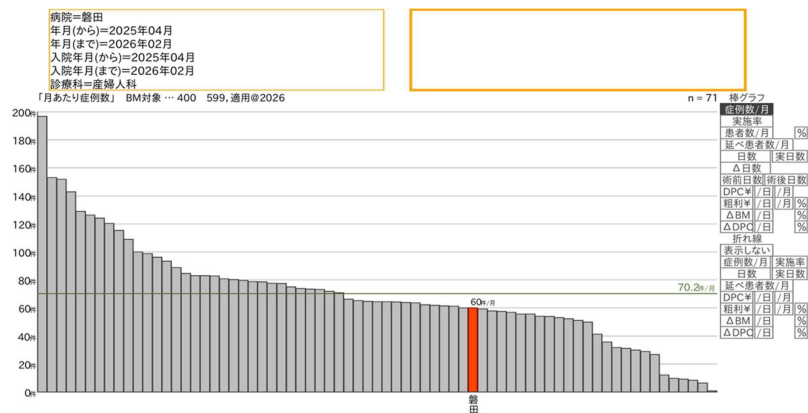
磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 産婦人科 周産期母子医療センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

目標に対するベンチマーク 産婦人科入院



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	73.3	73.8	80	成果時に評価
DPC期間II以内退院率(%)	82.0	79.3	80	成果時に評価
分娩件数	390	394	394	成果時に評価
ハイリスク分娩管理加算数(のべ)	539	435	435	成果時に評価
鏡視下手術件数	160	137	140	成果時に評価



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	周産期母子医療センターの体制整備	成果時に評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	スタッフ数の確保、有給休暇消化率の増加	成果時に評価
3. 経営基盤の回復	分娩数の維持・手術件数増加	成果時に評価



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度の目標達成に向けた施策

1. 周産期母子医療センターの体制整備

- 日本周産期・新生児医学会認定施設(指定施設)の維持
- 新生児受け入れ基準見直し検討
- 産科医師のモチベーション維持

2. 医師スタッフ数の確保

- 大学医局との連携維持
- 大学非常勤医師の確保
- 有給休暇消化率の増加



2026年度の目標達成に向けた施策

3. 分娩数の維持

- 分娩費の設定見直し(経膈分娩費用・帝王切開分娩費の見直し)
- 無痛分娩の適応拡大
- 非侵襲性出生前遺伝学検査(NIPT)促進(基幹施設認定取得の検討)
- 産科外来の超音波画像の提供周知

4. 手術件数の増加

- 鏡視下手術・ロボット支援下手術の維持
- 骨盤臓器脱手術(特にロボット支援)の増加
- 女性骨盤機能センターの運用定着



2026年度の新たな取り組み

- 無痛分娩の対応拡大の開始
- 女性骨盤機能センターの運用定着
- 女性ヘルスケア外来の検討
 - 月経関連疾患
 - ブライダルチェック
 - 更年期障害
 - 妊娠高血圧症候群フォローアップ等



決意表明

- 中東遠地域唯一の地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩・新生児の受入を維持していきたいと思えます。
- 中東遠地域の中核病院として地域のニーズに応える手術を施行します。

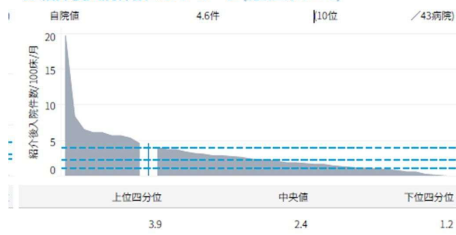


【2026年度】目標発表会 眼科



目標に対するベンチマーク

☆ 紹介後入院件数ベンチマーク [施設区分:すべて]



紹介患者のうち、
入院となる方は4.6件
目標達成には6件以上が
必要

GHC ダッシュボードより



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	6.2	30.2	33	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	97.3	97.5	98	成果時に 評価
手術件数/年(件)	647	959	500	成果時に 評価
抗VEGF薬硝子体注射薬治療/月 (件)	10	20	15	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	白内障手術、硝子体手術、緑内障手術への対応の継続と、難症例の白内障手術への対応	成果時に 評価
1. 地域から求められる医療を磨く	黄斑症例に対する抗VEGF薬硝子体注射薬治療の実施	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	眼科領域の疾患、治療方針のスタッフとの共有	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	地域の医療機関との交流を通じ、対応可能な疾患の周知	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

難症例を含めた白内障手術、硝子体手術、
緑内障手術等を適切かつ積極的に行う

新規患者受診数の増加を行い、紹介患者の
受診待機期間の短縮に努め、スムーズな
診療環境を構築をする



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度の新たな取り組み

眼科検査機器の更新により、黄斑ジストロフィー
や早期のぶどう膜炎といった疾患が診断可能と
なり、また黄斑部新生血管や網膜の詳細な評価
が可能になった

いままでは診断不能であった眼疾患について
正確な診療を行う



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

眼科領域の疾患に対し適切な医療を行えるよう、
地域の医療機関様とも協力しつつ、
取り組んで参ります



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 数値目標

【2026年度】目標発表会 耳鼻咽喉科

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	27.8	29.3	32	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	77.7	85.4	87	成果時に 評価
全身麻酔手術件数(件)	204	216	230	成果時に 評価



目標に対するベンチマーク

新規入院患者数(人/月)	100床あたりの症例数は全国中央値を若干下まわる
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	全国の中央値は65.8%であり、自院は上位1/4に該当 現状維持が妥当(容易な改善は施行)
手術件数(件)	全国平均26.1件/月に対して自院は18.9件/月と少ない。今年度より人員増、および手術枠増になるので相 応する手術件数にしたい



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる 医療を磨く	耳鼻科手術の待ち時間短縮	成果時に 評価
2. 職員が活き活きと輝く 職場環境を整備	タスクシフト・分業による休暇の確保	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	増加した手術枠の稼働率上昇	成果時に 評価



2026年度の新たな取り組み

・説明文書の整備

2025年6-7月にかけて説明文書を刷新・
充実したが、特に頻用文書については
要約・グラフィカル化・動画化をして
クオリティアップを図る



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

安全で丁寧な診療を提供していきます

成果として結実する業務の効率化・省力化を進めます

クリニックで対処困難な症例の受け入れおよびクリニック
で対処可能になった症例の逆紹介など病診連携を進め
ていきます



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 泌尿器科

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	52.1	60.9	65	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	71.1	80.7	80	成果時に 評価
ロボット支援手術(件)	30	60	70	成果時に 評価
手術件数(件)	448	507	510	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	低侵襲治療(腹腔鏡・ロボット手術)の提供 女性骨盤機能センターの運用推進 地域住民への情報発信	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	働き方改革の推進による残業時間の削減 弾力的な年休取得体制と消化率の向上 スタッフの新規資格取得に向けた取り組み	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	周辺医療機関との連携強化による紹介患者数増 新規入院患者数増 ロボット手術件数増	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

- ① ロボット手術/総手術件数の増加
 - ・地域住民への啓蒙活動
 - ・医師会との良好な関係を構築
 - ・日頃からの病診連携の強化(断らない診療)
- ② 職員が生き活きと輝く職場環境を整備
 - ・オンとオフを明確にし、残業時間削減・年休消化
 - ・新規資格取得の取り組み(腹腔鏡技術認定医)



2026年度の新たな取り組み

① 排尿ケアチームを立ち上げます

- ・排尿管理に関する加算を取得
- ・皆様の力が必要ですので、ご協力をお願いします！

② 女性泌尿器科手術の件数を伸ばします

- ・膀胱水圧拡張術
- ・ボツリヌストキシン膀胱壁内注入
- ・尿失禁防止手術(TVT)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

低侵襲手術(ロボット手術・腹腔鏡手術)

の実績を伸ばし、地域医療に貢献する。

女性泌尿器科領域の拡充を目指し、

地域医療に必要とされる診療を実践していく。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 数値目標

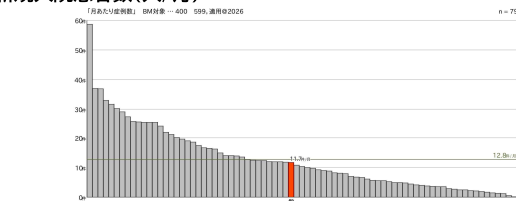
【2026年度】目標発表会 皮膚科

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	11.2	11.5	12	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	80.3	80.6	81.0	成果時に 評価
平均外来患者数(人/日)	32.9	35.0	36.0	成果時に 評価



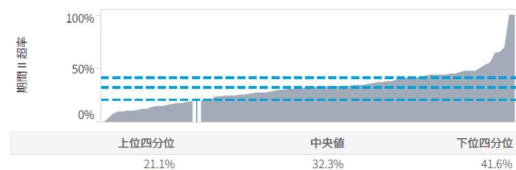
目標に対するベンチマーク

新規入院患者数(人/月)



girasol より

期間Ⅱ超率 自院値 19.4% (20位 /85病院)



GHC ダッシュボードχ より



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	一般市民への皮膚科的知識の啓蒙と、開業医との連携の強化	成果時に 評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	残業時間の短縮	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	外来患者数の増加	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

○近隣クリニックとの勉強会の継続

- ・当院への紹介患者を中心としたweb勉強会・情報交換会を毎月開催している。患者紹介促進につながると考え、積極的に実施していく。

○重症薬疹診療拠点病院としての薬疹研究、治療の継続

○引き続き、リンパ浮腫外来認知度の向上



2026年度の新たな取り組み

外来におけるコメディカルスタッフへの皮膚科診療に関する勉強会を行い、外来全体の知識向上により、より質の高い医療・サービスの提供を目指す。



決意表明

科の診療スキルの更なる向上により、地域の中核病院として十分な役割を果たし、信頼を持って受診していただける科になるよう、尽力します。



2026年度 数値目標

【2026年度】目標発表会 放射線診断科 画像診断センター

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
地域医療機関依頼のCT・MR・RI件数(件)	1,513	1,524	1,500	成果時に評価
読影率(%)	86	87	80以上	成果時に評価
読影件数(件)	37,004	38,103	38,000	成果時に評価



目標に対するベンチマーク

画像診断管理加算2

画像診断を専ら担当する常勤の医師**1名以上**が翌診療日までにCT/MR/核医学検査の**8割**以上を読影して主治医に文書で報告した場合**175点**(加算1は70点、加算3は235点、加算4は340点)



2025年度(4月-3月)の成果

	検査件数	読影件数	読影率
CT	31,585	27,158	86.0%
MR	8,711	7,893	90.6%
核医学	838	741	88.4%
計	41,134	35,792	87.0%

約6,900万円(前年6,500万円)の収益
加算1より約4,900万円(前年4,500万円)の増収



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	血管造影検査治療(IVR)実施体制の維持に向けた若手医師の育成	成果時に評価
1. 地域から求められる医療を磨く	急性期拠点病院として求められる質の高い画像診断・読影体制の維持	成果時に評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	有給休暇の計画的取得	成果時に評価
3. 経営基盤の回復	画像診断管理加算2の維持	成果時に評価



2026年度の目標達成に向けた施策

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	血管造影検査治療(IVR)実施体制の維持に向けた若手医師の育成	継続
1. 地域から求められる医療を磨く	急性期拠点病院として求められる質の高い画像診断・読影体制の維持	継続
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	有給休暇の計画的取得	継続
3. 経営基盤の回復	画像診断管理加算2の維持	継続



2026年度の新たな取り組み

常勤医

(放射線診断専門医、IVR専門医)

の獲得



決意表明

画像診断管理加算2の継続

常勤医の高齢化に対し、

新たな常勤医の獲得、

非常勤医の確保。



2026年度 数値目標

【2026年度】目標発表会 放射線治療科 放射線治療センター

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規入院患者数(人/月)	0.7	1.4	2	成果時に 評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	100	100	-	成果時に 評価
緩和的放射線治療件数 (照射方針が「対症」「姑息」の合計)	183	188	195	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対するPSMA標的治療(核医学治療)の導入	成果時に 評価
1. 地域から求められる医療を磨く	骨転移診療チームの整備に向けての準備	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	緩和的放射線治療の普及(院内・院外とも)	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

骨転移診療チームの整備に向けて

- 主治医、整形外科、緩和医療科、リハビリテーション科、放射線診断科など関連各科との情報共有の方法を検討
- タイミング良く必要な治療が導入出来るように意見交換の場を設ける

緩和的放射線治療の普及 → 件数UP

- 院外からの相談を受けやすくする
- がん診療に関連する各科にはたらきかける



2026年度の新たな取り組み

遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対する
内用療法(プルヴィクト)導入

- 特別措置病室の増床
- マニュアル作成・パス作成・スタッフ教育・急変時
対応訓練
- 患者の選定等について泌尿器科と協議する



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

患者さんお一人お一人に適した治療を丁寧
に行います

放射線治療センターが一丸となって目標達成を
目指します



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	目標値
手術件数(件)	5,266	5,223	5,350	成果時に 評価
全身麻酔件数(件)	2,451	2,389	2,450	成果時に 評価
内視鏡手術用支援機器 加算対象手術(件)	-	151	200	成果時に 評価

【2026年度】目標発表会 麻酔科・手術センター



2025年度のロボット支援下手術

	月	火	水	木	金	合計	平均手術時間(分)
外科	10	10	50	-	-	70(件)	359
泌尿器科	-	-	-	51	8	59(件)	160
産婦人科	-	25	-	-	12	37(件)	234
呼吸器外科	14	-	-	-	-	14(件)	182

手術可能だった日数	42	49	50	49	49
症例件数	24	35	50	51	20
1年間のロボット手術時間(分)	6,138	9,440	17,950	8,160	4,088
1日のロボット手術時間(分)	146	193	359	167	83



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる 医療を磨く	安全・良質な手術医療の提供 緊急手術への迅速な対応 ロボット支援下手術・鏡視下手術件数増加への対応	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く 職場環境を整備	日中の手術室稼働率の維持 休憩室の改装	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	手術件数維持・増加への対応	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

スタッフ数の減少

手術件数の維持

ロボット手術件数の増加への対応

緊急手術への迅速な対応

安全を損なわない範囲での効率的な業務体制の構築
(外回りの人員の見直しなど)

すべてのスタッフがいろいろな手術/状況に対応できる



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度の目標達成に向けた施策

麻酔科外来の改装

麻酔科・術前準備外来

外来の院内呼称の変更

術前診察/ケア
の質の向上



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度の新たな取り組み

内視鏡手術用支援機器 加算対象手術
200件以上に対応

3Fオペ室の運用

手術枠 78枠 → 82枠
麻酔科管理枠 55枠 → 59枠

継続



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

質の高い医療の実現

各スタッフの力の底上げ

手術件数の維持



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 数値目標

【2026年度】目標発表会 病理診断科 病理診断センター

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
CPCの開催	-	-	10	成果時に 評価
病理診断結果確認率	-	96.2	98	成果時に 評価



目標に対するベンチマーク

CPCの開催：例年の結果

病理診断結果確認率：2025年度の結果



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	がんゲノム医療の更なる推進に向けた体制整備	成果時に 評価
1. 地域から求められる医療を磨く	病理医の資質向上	成果時に 評価
3. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	業務効率化	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

1. がんゲノム医療の更なる推進に向けた体制を整備するため、診断担当病理医だけではなく、他の病理医も関与する。
2. 病理医の資質向上に向けて、日本病理精度保証機構による認定を受ける。
3. 業務効率化:有給休暇の取得を推進する。



2026年度の新たな取り組み

がんゲノム医療の更なる推進に向けた体制を整備するため、診断担当病理医だけではなく、他の病理医も関与する。これにより、エキスパートパネルへの出席回数を増やし、病理医の資質向上も図る。



決意表明

病理医の資質向上に向けて、
日本病理精度保証機構による
認定を受ける。



2026年度 数値目標

【2026年度】目標発表会 リハビリテーション科

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
月平均外来患者数(人)	35.4	56.5	60.0	成果時に 評価
月平均新規紹介患者数(人)	1.4	1.5	2.0	成果時に 評価
DPC II 超過難渋症例支援	-	5	7	成果時に 評価



目標に対するベンチマーク

全国統一ベンチマークなし

- 昨年度実績からの着実な伸長。現行の外来枠での
実行稼働率を最大化する数値として設定。
- 診療支援に関しては昨年度まで正確な数値は計測
していないために、今年度より計測を開始する。



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる 医療を磨く	急性期リハビリテーション体制の充実と365日介入に 向けた体制の整備	成果時に 評価
2. 職員が活き活きと輝く 職場環境を整備	リハビリテーションの適正処方(教育、理解)	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	DPC II 超過難渋症例の退院支援	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

① 院内連携

- 定時の病棟ラウンド実施
- 長期化、ハイリスク症例の早期抽出
- 他職種カンファレンスへの参加
- 主治医への提案強化
- 装具回診の実施
- 在宅生活を前提とした方針の提示



2026年度の目標達成に向けた施策

② 地域連携

- ケアマネージャー、訪問看護師、訪問療法士、後方病院スタッフ、行政との連携強化
(※平時＋災害時)
- 退院前カンファレンスへの関与
- 他科で対応困難な地域の困りごとを当科外来受診にスムーズに結びつける



2026年度の新たな取り組み

- 開発したIWATA4スコア運用による
摂食条件低下ハイリスク症例の抽出
- AIによるリハビリテーション教育ツールの開発
(医師、看護師、ケアマネージャー向け)
- 外来における自主訓練の科学的習慣化の導入



決意表明

- 診療の質向上 + 在院日数適正化に貢献
- 機能評価 + 生活再建の視点で診療に関与
- 地域連携強化 + 当科外来の充実



【2026年度】目標発表会

救急科

救命救急センター



目標に対するベンチマーク

全国の救命救急センターを基準にして

最低ライン / 標準ライン / 挑戦ライン

受け入れ台数	4000	/	5000	/	6000+
応需率	85	/	90	/	95
救急経由入院患者数1	600	/	2100	/	2500+
ER滞在時間	5時間	/	4.5時間	/	4時間以内



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
救急車受け入れ件数(件)	6292	6164	6400	成果時に 評価
応需率(%)	95	94.1	95	成果時に 評価
救急車からの入院率(%)	44.2	45.7	44	成果時に 評価
ER滞在時間 (来院～帰宅、入院が完了するまで)	2時間 16分	2時間 52分	3時間 以内	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	消防機関との連携を深め、病院前から院内まで一貫した救急医療体制を構築する	成果時に 評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	心理的安全性の高いチームを作り、誰もが意見を言える救急科を根付かせる	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	救急外来の受入能力と効率を高め、病院経営へ貢献する	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

1. 地域から求められる医療を磨く
 - 消防との訓練、浜松医科大学との連携による研修医教育の充実
2. 職員が生き生きと輝く職場環境を整備
 - 毎日のミーティング実施、院内救命士の役割の明確化、アンケート実施での心理的な安全性の評価
3. 経営基盤の回復
 - 救急搬送数、受け入れ困難のモニタリング、救急外来在室時間の短縮



2026年度の新たな取り組み

毎朝のミーティング実施

心理的な安全性に関するアンケート示指

救急外来の在室時間の測定



決意表明

救急科は1人ですが、チームで協力して
近隣病院に負けない医療を提供できるよう
に努力します



【2026年度】目標発表会 歯科口腔外科

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人)	41.0	36.1	44.0	成果時に 評価
紹介患者数	1759	1872	1900	成果時に 評価
平均在院日数(日)	3.2	3.8	3.8	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	歯科診療所との連携による難手術症例の受け入れ推進	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	業務の効率化・省力化によるストレスの軽減、残業時間減少	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	令和8年度診療報酬改定への対応 平均在院日数にはこだわらず病床稼働率の上昇を図る	成果時に 評価

2026年度の目標達成に向けた施策

- 口腔内スキャナーやシミュレーションソフト、3Dモデルの活用により手術時間の短縮を図り、再現性の高い手術・治療を実施する。
- デンタルインプラント手術におけるサージカルガイドの活用により安全性を担保する。
- 地域歯科医師会への積極的な参加に努める。



2026年度の新たな取組み

- 口腔科学会研修施設の要件を満たす見込みがあるため、施設認定の準備を進める。
- 4月よりCAD/CAM冠・インレー等の光学印象が保険収載されたため、口腔内スキャナーの積極活用を行う。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

安全で良質な医療の提供をするために、常に最新の情報・技術をアップデートし、科内で共有する。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital